

機能分子化学科 2020年度入学生 1年次の履修上の注意

- ✓ 専門科目のカリキュラムは（程度の差はあれ）毎年改訂が行われている。上級生からアドバイスを受ける際は十分に注意し、教務部などで必ず正確な情報を入手すること。
- ✓ 『履修要項』、『履修ガイドブック』、『学修スタートナビ（新入生用）』の指示に従い、適切に授業を履修し、所定の単位を修得すること。
- ✓ 1年間に履修登録できる単位数は49単位までであるので（除外科目あり。『履修要項』128-129ページ）、その上限のなかでできるだけ多くの授業を履修し、早期に単位修得すること。
- ✓ 卒業研究の分属や種々の奨学金への応募、大学院修士課程の学内推薦等に成績を考慮することがあるので、しっかり勉強すること。一方、1年次で修得できない科目が多い場合、4年間で卒業できなくなるので充分注意すること。

【全学部共通科目】

（1）外国語

①英語

「College English Reading and Writing」（通年 2 単位）

「College English Listening」（半期 1 単位）

「College English Speaking」（半期 1 単位）

②第2外国語（次のいずれかの外国語）

ドイツ語：「基礎ドイツ語Ⅰ」（通年 2 単位）および「基礎ドイツ語Ⅱ」（通年 2 単位）

フランス語：「基礎フランス語Ⅰ」（通年 2 単位）および「基礎フランス語Ⅱ」（通年 2 単位）

中国語：「基礎中国語Ⅰ」（通年 2 単位）および「基礎中国語Ⅱ」（通年 2 単位）

韓国語：「基礎韓国語Ⅰ」（通年 2 単位）と「基礎韓国語Ⅱ」（通年 2 単位）

（2）保健体育科目

「基礎体育学演習」（通年 2 単位）

（3）基礎共通科目もしくは国際言語文化科目（D 理系国際言語文化コース）

理工学部の学生は、「基礎共通科目」（1 コース）もしくは「国際言語文化科目（D 理系国際言語文化コース）」のいずれか 1 コースを選択して履修する。いずれのコースも、卒業までに計 16 単位以上修得する必要がある。

「基礎共通科目」（1 コース）

人文科学系・社会科学系・自然科学系の 3 科学系統（それぞれ 4 単位以上）と、学際融合系（2 単位以上）を合わせた 4 つの系統と、導入共通科目（2 単位以上）から構成される（『履修要項』34 ページ）。

「国際言語文化科目（D 理系国際言語文化コース）」（定員 30 名）

理系英語を主とした科目として開講されている。国際言語科目（4 単位以上）、国際文化科目（指定単位数なし）、および導入共通科目（2 単位以上）から構成される（『履修要項』40 ページ）。英語が得意で好きな学生は検討してもよいが、定員 30 名となっている（抽選（『学修スタートナビ（新入生用）』7 ページ）に漏れると基礎共通科目の履修となる。）。このコース以外の国際言語文化科目は選択してはいけない（『履修要項』40 ページ）。

*いずれのコースも一旦決定したら変更できないので注意すること。

* 1年次は12単位まで履修登録できる（『履修要項』128 ページ）。2年次終了時点で卒業に必要な単位数をすべて修得することを推奨する。

【機能分子化学科専門教育科目】

- ・機能分子化学科の 1 年次に配当されている専門科目を修得すること。
- ・卒業には、専門教育科目表および履修上の注意の指示に従い、合計 102 単位以上を修得すること（『履修要項』150～152 ページ）。

【特に注意すべき点】

1. 「機能分子化学実験入門」(後期)を必ず修得すること。

修得しないと2年次の基礎化学実験が履修できなくなり、4年間で卒業できなくなる。

2. 「化学数学基礎A」、「化学数学基礎B」、「化学数学基礎C」、「化学数学基礎D」、を必ず修得すること。

2年次以降は専門科目と時間割がほぼ重複するため再履修が難しい。よく勉強しないとすべて不可となる。選択必修科目は18単位必要で1年生で8単位履修する。

3. 「化学基礎A」「化学基礎B」「分析化学基礎」「物理化学基礎」「有機化学基礎」を必ず修得すること。選択必修Aは10単位/12単位中であり実質1つも落とせない。

これらは、今後多くの専門科目を履修する上での最も基礎となる重要な科目である。よく勉強しないとすべて不可となる。

* 「化学基礎A」の初回授業には(持っていれば)高校で使った化学の教科書を持参すること。

4. 前期の金曜1、2限は、下記の補習授業等を行うので、正規授業を履修(登録)しないこと(別紙参照)。

- 1) ~~力試しテスト 4月10日・17日(水) 5限(8-22教室)~~ **中止**

2) ~~大学院生による学生生活解説 4月24日(水) 5限(8-22教室)~~ **中止**

3) 補習授業 :

化学(化学基礎A) : 前期金曜 **2限** (8号館 8-12 教室)

4月10日(金)より(4/10, 17はなし, 4/24から配信(4/10, 4/17分も))

数学(化学基礎B) : 前期金曜 **1限** (8号館 8-12 教室)

5月1日(金)より(別紙)(5/1は配信)

* 上記のすべてに全員出席すること。

5. 学修相談室を積極的に活用すること。

授業だけでは到底理解できない内容が多く出てくる(はずである)が、その際は積極的に『学修相談室』を活用しよう。授業でわからない内容や演習問題について丁寧に教えてくれる“個人塾”のような存在である。以下のホームページを一度は見て、実際に行ってみよう。

開室期間

学修相談室 : [前期] 5/12(火)~7/16(木)の開室日(別紙)

[後期] 10/26(月)~1/19(火)の開室日(別紙)

7号館 C-417号室にて

* 詳しくは下記ホームページ :

http://www.chem.konan-u.ac.jp/PCSI/web_material/gakushu_sodan/gakushu_sodan.html

6. 他学科開講科目について

- ・「物理学通論」(通年月曜5限〈変則日程〉、4単位)
- ・「生物学通論Ⅰ」(前期水曜2限、2単位)、「生物学通論Ⅱ」(後期水曜2限、2単位)
- ・「地学通論」(通年月曜1限、4単位)

教員免許取得希望者はこれらの1年次配当科目を卒業までに修得しなければならない。

* 上記科目履修の際は、履修登録制限(上限49単位)に注意すること。(制限に入ります)

7. 教員免許の取得希望者について

教育職員養成課程(教職課程)ガイダンス(~~4/3~~ **16:20~17:20**)に必ず出席すること。

「日本国憲法」(後期金曜3限)を必ず修得すること。

「教職入門」(前期火曜5限か木曜5限)、「教育原論」(後期月曜2限、火曜5限か木曜5限)を必ず修得すること。

「IT基礎」(もしくは「IT応用」)を必ず修得すること。

1年次終了時点で、GPA 2.00以上の成績が必要になるので、よく勉強すること。

8. その他

My KONAN のパスワードはすぐに変更すること(『履修ガイドブック』112ページ)。

9. 教科書の購入

本年は大学に来る日数も少ないので以下の教科書を大学生協で購入してください。4/8 と 4/13 が理工学部の販売日になっているようです。

大学の講義では教科書が必ず必要で、個人で教科書を購入していただくことになっております。

(以下に挙げたのは本学科の前期専門科目です。基礎共通科目等選択した科目で別途必要となります。)

「マクマリー 一般化学 (上)」(東京化学同人 2010 年) 化学基礎A, B (木本, 村上)

「マクマリー 一般化学 (下)」(東京化学同人 2010 年) 化学基礎A, B (木本, 村上)

演習 溶液の化学と濃度計算 実験・実習の基礎 立屋敷哲著 丸善 分析化学基礎(茶山)

「やさしく学べる線形代数」石村園子著(共立出版) 化学数学基礎A (堀内)

「やさしく学べる微分積分」石村園子 著 (共立出版) 化学数学基礎B (須藤)